

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測








◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Toncoin	 TRON	 Core
中堅	 IOTA	 Biconomy	 Zignaly
新規	 Omni Neveork		

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内で、関連ニュースから中長期的に注目を集めると予想した銘柄に Goodマークとして表示しています。






有料
レポート

週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 4/18

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰したTOP銘柄を調査し情報を提供するものです。話題になっている銘柄を週次でまとめて分析することで、市場で何が起こったのかどの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	24時間取引量ランク	上昇率7days
#9	 Toncoin	Layer1	¥3,280,090,118,131	¥944.98	16.85倍 (ETH比)	#26	▼10.45%
#13	 TRON	Layer1	¥1,484,515,889,376	¥16.94	37.22倍 (ETH比)	#27	▼8.09%
#49	 Core	Layer1	¥296,528,496,434	¥336.45	31.68倍 (SOL比)	#38	▼4.93%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、▼12.99%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)

Toncoin : TON

本銘柄は、2024年3月と先週で2度ほど選出され、Goodマークを付与しています。

注目ポイント：先週に引き続きTelegramの収益共有システム導入、時価総額ランクTOP10

先週に引き続き、直近7日間の価格推移が良かった銘柄としてランクインしています。Telegramプラットフォーム上での広告収入の新たな分配方法を確立しています。この新システムでは、**チャンネルオーナーが生成する広告収入の50%が共有され、その支払いにToncoinが使用できるようになる**とのこと。さらに、TelegramのCEOが過去10年間ビットコインを保有していたことが業界メディアに取り上げられ、**Telegramと仮想通貨の統合に向けた前向きな動きが注目**されています。このような背景がToncoinの注目度を高めています。

Tron : TRX

本銘柄は、2024年1月4週目に1度選出され、Goodマークを付与しています。

注目ポイント：市場の不安定さを逆手に取るTronネットワーク

最近の報道によると、多くの暗号通貨が価値を下げる中で、TRONは比較的安定した状態を保っているとされています。具体的な理由は記載されていませんが、Tronネットワークが扱うUSDT（テザー）の月間取引量が、Ethereumが処理する量の2倍を超えているというデータがあります。これを複合的に考えると市場が下落傾向にある中でステーブルコインの需要が高まるので、ステーブルコインを多く扱うTronへの資金流入が増加する可能性があります。この流れが、Tronが安定している一因と考えられます。

Core : CORE

本銘柄は、2024年4月1週目に1度選出され、Goodマークを付与しています。

注目ポイント：4/17 非カストディアルBTCステーキングを導入




2024年4月17日、コアチェーンは**非カストディアルBTCステーキングを導入**し、ビットコイン（BTC）を収益を生み出す資産へと変革しました。この新機能により、BTC保有者は自分のBTCを直接ビットコインネットワークにステーキングし、サトシプラスとして知られるコアチェーンのコンセンサスメカニズムを通じてセキュリティを強化しつつ、報酬を獲得することが可能になります。この進展は、ビットコインの利用と認識を価値の保存場所から収益を生み出す手段へと広げ、長期的な金融環境におけるビットコインの役割を再定義しています。COREのこの画期的な取り組みにより、ビットコインの新時代が幕を開け、更なる可能性への扉が開かれています。

CMCサイト内 検索トレンド中堅銘柄 新規リスト銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 4/18

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドを分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量ラ ンク	上昇率 7days
#102	 IOTA	IoT	¥108,732,321,108	¥33.67	3.97倍 (VET比)	#257	▼29.94%
#168	 Biconomy	platform	¥55,978,398,706	¥77.52	167.81倍 (SOL比)	#304	▼30.46%
#369	 Zignaly	platform	¥18,909,367,196	¥13.19	496.78倍 (SOL比)	#416	▼12.52%

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)

Biconomy：BICO

本銘柄は、2024年1月に2度、2月に1度、4月に2度ほど週次レポートで選出され、1週目の選出にてGoodマークを付与しています。

注目ポイント：先々週、先週と同様の要因で選出

注目の要因は前回より継続しており、検索トレンドにランクインしております。また、先週と同様に 今週もさらに2社とのパートナーシップやシステム統合を行い、経済圏拡大を目指した積極的な活動 しています。

以下、先週と同様の要因となります。

主要なweb3ベンチャーキャピタル（VC）から 戦略的な資金調達を達成している点、アカウント抽象化インフラ提供者でもあるBiconomyが、20以上のチェーンと400以上の分散型アプリケーション（dApps）に統合され、J.P.モーガン、Trust Wallet、メルセデス・ベンツ、などのパートナーを持つ企業から、開発者に向けたシンプルなユーザーエクスペリエンス（UX）を強化する重要なマイルストーンを発表している点が期待感を高めています。また実績として、500万人以上のユーザーをオンボードし、アカウント抽象化トランザクションの市場シェアの約50%を占め、150万以上のスマートアカウントをサポートしていると業界メディアで報じられています。

IOTA : IOTA

本銘柄は、2024年2月に1度週次レポートで選出されています。

注目ポイント：4月9日 IOTA APAC アクセラレータの立ち上げ

IOTAはTenity社と協力して、シンガポールでIOTA APAC アクセラレータを開始しました。この12週間のプログラムは、DeFiセクターに焦点を当て、参加企業に\$50,000の助成金、専門家のガイダンス、ネットワーキングの機会を提供します。アクセラレータは、リアルワールドアセットのトークン化製品とインフラを開発する初期段階のプロジェクトを支援することにより、デジタル金融の革新を推進し、IOTAのエコシステム内でWeb3イノベーションを促進しています。**現在のトークン価格を考慮すると、短期的な市場の動向にはあまり影響を与えていない**ようです。短期的な価格の変動は、このようなイニシアチブの影響をすぐには反映しないことが多いため、長期的な成果に期待となりそうです。

Zignaly : ZIG

本銘柄は、先週1度選出されています。

注目ポイント：先週とは別の要因で、独自チェーンと基金の発表と南アフリカの既存金融ライセンスの取得への期待

Zignalyは、Cosmosベースの**独自ブロックチェーン「ZIGChain」の導入**と、**1億ドルのエコシステム開発基金の設立**を発表、これにより開発者、資産管理者、そしてユーザーが協力して富を生み出すプラットフォームを構築しています。また、**南アフリカで裁量的金融サービス提供のライセンスを取得**しました。これにより、プロフェッショナルの取引をコピーする機能を正式に提供できるようになり、**投資経験が少ないユーザーも専門家の取引を真似することで、合法的かつ安全な環境で利益を得ることが可能となります。**

中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**▽12.99%**となっております。



大穴：新規銘柄 発掘ガイド 4/18

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた大穴：新規銘柄を見つけるために、二つの重要な分析手法を採用しています。1つ目は、CMCに新たに掲載された銘柄を対象に、時価総額ランキングで50位から400位の間に位置する新規銘柄があるかどうかを調査し、その情報を提供することです。2つ目は、Tier1VCのポートフォリオ銘柄の中で、直近7日間で時価総額の順位が急上昇している銘柄を調査し、情報を提供することです。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	24時間 取引量 ランク	直近7日間 のCMC推移
#227	 Omni NeyeorK	Layer1	¥42,305,818,172	¥4,071.20	1306.11倍 (ETH比)	#21	—

Omni Network : OMNI

直近7日間でCMCに新規でリストアップされた銘柄

注目ポイント：Binance Launchpool52番目銘柄、4/17Binance上場

同日に、**メインネット公開と、Binance Launchpoolの52番目の銘柄として上場**したことで、注目を集めています。また初期のエアドロップとして、ステーキングとリスティング分野を重視しております。Omni Foundationは、リキッド・リスティング分野を牽引する複数のプロジェクトから、**10億ドル相当のイーサリアムのサポートを確保し、異なる同分野のロールアップを統合するブロックチェーン構築を目指しており、同分野のプロジェクトと協力関係を結ぶ点で投資家にとって将来性を感じられやすいビジネス設計**をしていると感じさせます。



引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap : <https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp : <https://www.coincarp.com/>
- Messari : <https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。

レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト： <https://tsudo-platform.co.jp/>